

# I 推計値の概要

## 1 農業総産出額及び生産農業所得（全国推計）

(1) 平成27年の農業総産出額は8兆7,979億円で、前年に比べ5.2%増加した。

これは、畜産、野菜、米等の各部門において農産物価格の上昇により産出額が増加したためである。

主要部門別に構成割合をみると、畜産計は3兆1,179億円で農業総産出額の35.4%を占めており、次いで、野菜が2兆3,916億円で同27.2%、米が1兆4,994億円で同17.0%を占めている。

表1 農業総産出額（平成27年）

区 分	産 出 額		対 前 年 増 減 率
	実 額	構 成 比	
	億円	%	%
農業総産出額	87,979	100.0	5.2
うち耕種計	56,245	63.9	4.9
うち米	14,994	17.0	4.5
野菜	23,916	27.2	6.7
果実	7,838	8.9	2.8
畜産計	31,179	35.4	5.9
うち肉用牛	6,886	7.8	15.9
乳用牛	8,397	9.5	4.3
豚	6,214	7.1	△ 1.8
鶏	9,049	10.3	6.1

注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵及びブロイラーを含む。

### ア 耕種部門

耕種部門の産出額は5兆6,245億円（農業総産出額に占める構成比63.9%）で、前年に比べ4.9%増加した。

(ア) 米の産出額は1兆4,994億円（同17.0%）で、前年に比べ4.5%増加した。

これは、価格が上昇したことによる。

(イ) 野菜の産出額は2兆3,916億円（同27.2%）で、前年に比べ6.7%増加した。

これは、トマト、ねぎの価格が上昇したこと等による。

(ウ) 果実の産出額は7,838億円（同8.9%）で、前年に比べ2.8%増加した。

これは、みかんの価格が上昇したこと等による。

(エ) 花きの産出額は3,529億円（同4.0%）で、前年に比べ2.7%増加した。

これは、きくの価格が上昇したこと等による。

イ 畜産部門

畜産部門の産出額は3兆1,179億円（農業総産出額に占める構成比35.4%）で、前年に比べ5.9%増加した。

(ア) 肉用牛の産出額は6,886億円（同7.8%）で、前年に比べ15.9%増加した。

これは、価格が上昇したこと等による。

(イ) 乳用牛の産出額は8,397億円（同9.5%）で、前年に比べ4.3%増加した。

これは、生乳の価格が上昇したこと等による。

(ウ) 豚の産出額は6,214億円（同7.1%）で、前年に比べ1.8%減少した。

これは、価格が低下したこと等による。

(エ) 鶏の産出額は9,049億円（同10.3%）で、前年に比べ6.1%増加した。

これは、鶏卵の価格が上昇したこと等による。

表2 農業総産出額

区 分	平成26年		27		対前年 増減率
	実 額	構成比	実 額	構成比	
	億円	%	億円	%	%
農 業 総 産 出 額	83,639	100.0	87,979	100.0	5.2
うち 耕 種 計	53,632	64.1	56,245	63.9	4.9
うち 米	14,343	17.1	14,994	17.0	4.5
麦 類	384	0.5	432	0.5	12.5
豆 類	749	0.9	684	0.8	△ 8.7
い も 類	2,075	2.5	2,261	2.6	9.0
野 菜	22,421	26.8	23,916	27.2	6.7
果 実	7,628	9.1	7,838	8.9	2.8
花 き	3,437	4.1	3,529	4.0	2.7
工 芸 農 作 物	1,889	2.3	1,862	2.1	△ 1.4
畜 産 計	29,448	35.2	31,179	35.4	5.9
うち 肉 用 牛	5,940	7.1	6,886	7.8	15.9
乳 用 牛	8,051	9.6	8,397	9.5	4.3
豚	6,331	7.6	6,214	7.1	△ 1.8
鶏	8,530	10.2	9,049	10.3	6.1

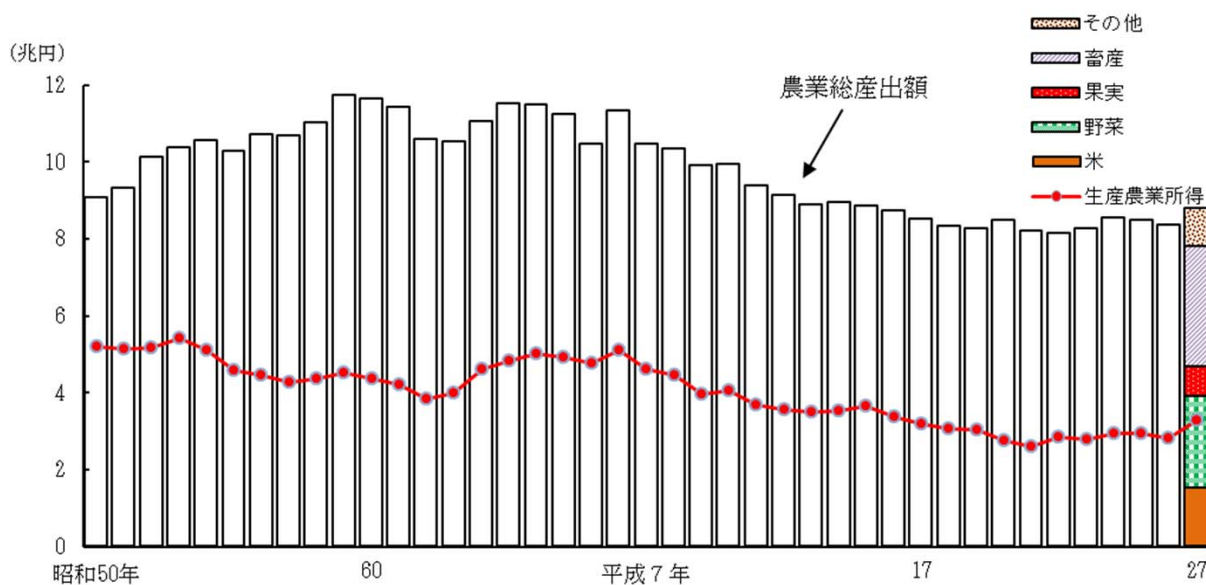
注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵及びブロイラーを含む。

(2) 生産農業所得は3兆2,892億円で、前年に比べ16.1%増加した。

表3 生産農業所得（全国）の推移

年次	生産農業所得	
	実額	対前年増減率
	億円	%
平成21年	25,946	△ 6.0
22	28,395	9.4
23	27,800	△ 2.1
24	29,541	6.3
25	29,412	△ 0.4
26	28,319	△ 3.7
27	32,892	16.1

図1 農業総産出額及び生産農業所得の推移



## 【参 考】

### 労働農業所得の試算

#### 1 試算の目的

自営農業労働から得られる所得をマクロベースでみるため、生産農業所得から雇用賃金相当額、支払利子・地代相当額、経常補助金等を控除した労働農業所得（家族）及び労働農業所得（家族）から経営主（法人経営の構成員等を含む。）以外の家族の賃金相当額を控除し、経営主に帰属する部分である労働農業所得（経営主）を試算した。

#### 2 試算方法

$$(1) \text{ 労働農業所得（家族）} = \text{生産農業所得} - (\text{※雇用賃金相当額} + \text{支払利子・地代相当額} + \text{経常補助金等})$$

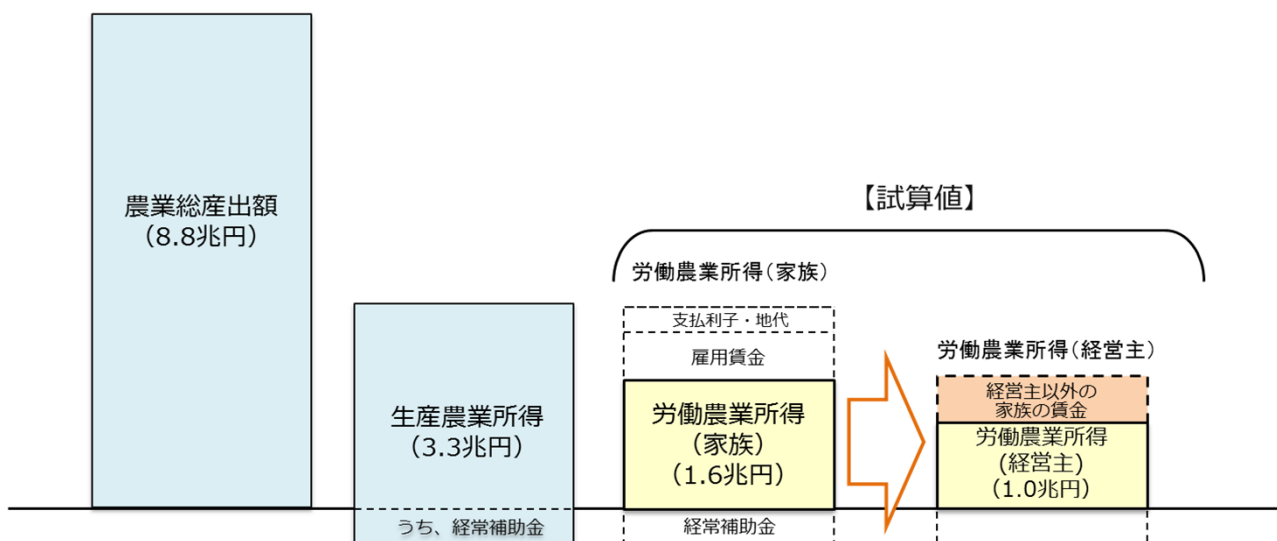
※ 雇用賃金相当額及び支払利子・支払地代相当額は、農業経営統計調査結果から得られた1経営体当たりの雇用賃金、支払利子・地代に経営体数を乗じて試算したものである。

$$(2) \text{ 労働農業所得（経営主）} = \text{労働農業所得（家族）} - \text{※経営主以外の家族の賃金相当額}$$

※ 経営主以外の家族の賃金相当額は、労働農業所得（家族）から農業経営統計調査結果から試算した1経営体当たりの自己資本利子・自作地地代に経営体数を乗じた額を控除したうえで、経営主と経営主以外の家族の農業労働時間割合で<sup>あん</sup>按分したものである。

#### 3 試算結果

平成27年の労働農業所得（家族）は1.6兆円、労働農業所得（経営主）は1.0兆円となった。



## 2 農業産出額及び生産農業所得（都道府県別推計）

- (1) 都道府県別の農業産出額は、北海道が1兆1,852億円で最も多く、次いで茨城県が4,549億円、鹿児島県が4,435億円、千葉県が4,405億円、宮崎県が3,424億円の順となっている。

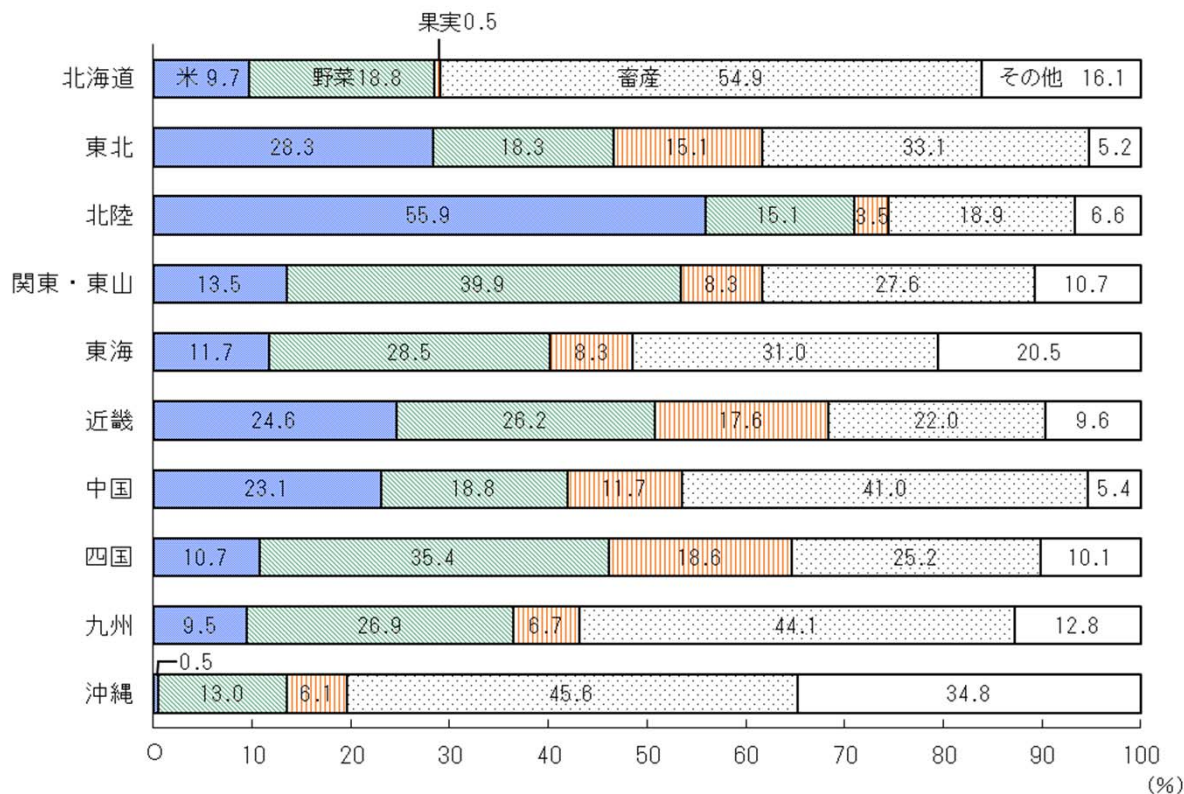
表4 農業産出額上位5都道府県

単位：億円

順位	平成26年		27	
	都道府県	産出額	都道府県	産出額
1	北海道	11,110	北海道	11,852
2	茨城県	4,292	茨城県	4,549
3	鹿児島	4,263	鹿児島	4,435
4	千葉県	4,151	千葉県	4,405
5	宮崎	3,326	宮崎	3,424

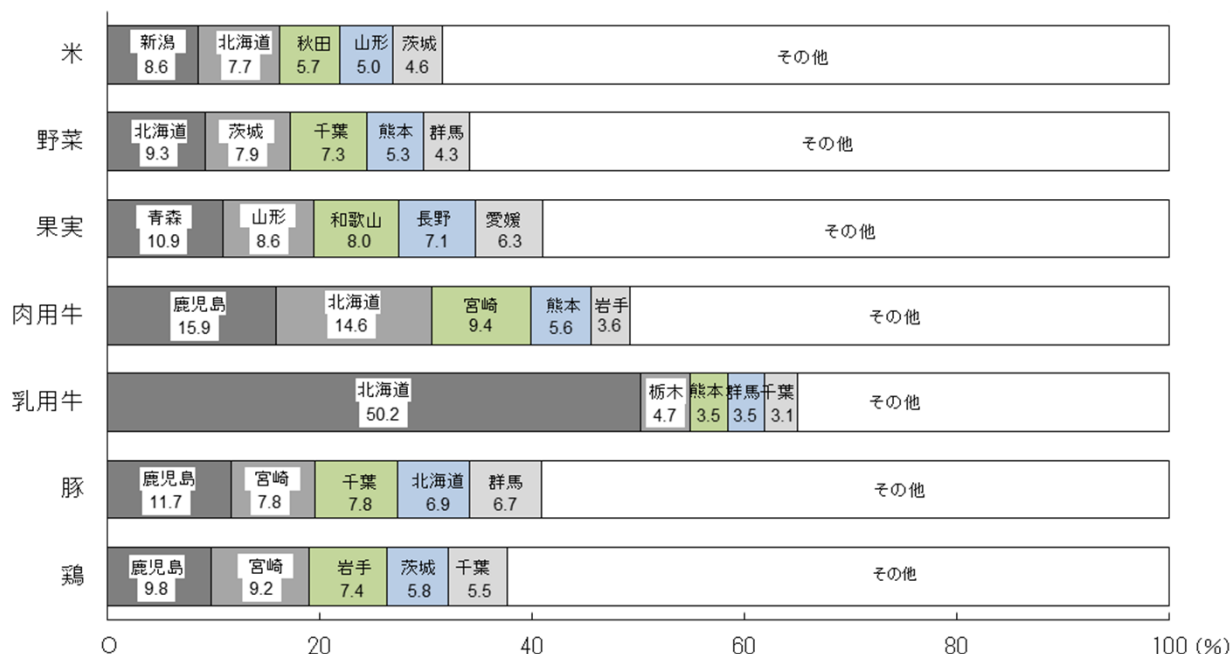
- (2) 全国農業地域別にみると、北陸は米、関東・東山、近畿及び四国は野菜、北海道、東北、東海、中国、九州及び沖縄は畜産が、それぞれ多くなっている。

図2 全国農業地域における農業産出額の主要部門別構成比



- (3) 主要部門について農業産出額が最も多い都道府県をみると、米は新潟県で1,284億円（部門の都道府県の合計に占める割合は8.6%）、野菜は北海道で2,224億円（同9.3%）、果実は青森県で857億円（同10.9%）、肉用牛は鹿児島県で1,060億円（同15.9%）、乳用牛は北海道で4,317億円（同50.2%）、豚は鹿児島県で738億円（同11.7%）、鶏は鹿児島県で921億円（同9.8%）となっている。

図3 主要部門における農業産出額の都道府県別の構成比



注：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵及びブロイラーを含む。

- (4) 都道府県別の生産農業所得は、北海道が4,840億円で最も多く、次いで千葉県が1,691億円、茨城県が1,604億円、鹿児島県が1,367億円、青森県が1,338億円の順となっている。

表5 生産農業所得上位5都道府県

順位	単位：億円			
	平成26年		27	
	都道府県	生産農業所得	都道府県	生産農業所得
1	北海道	3,966	北海道	4,840
2	茨城県	1,384	千葉県	1,691
3	千葉県	1,361	茨城県	1,604
4	熊本県	1,186	鹿児島県	1,367
5	鹿児島県	1,153	青森県	1,338